

令和 8 年 7 月 27 日

各 位

薬局 医薬品情報室

第 306 回薬事委員会 伊勢原協同病院 採用薬品等について

*原則、令和 8 年 8 月 1 日以降より使用いたします。

院外採用薬はマスタ設定次第開始となります。

1. 新規採用薬品について

報告事項はありません。

2. 院外採用薬品について

報告事項はありません。

3. 採用区分変更の薬品について

(1) カデュエット配合錠 4 番 (ヴィアトリス) 薬価 : 49.2/錠

カデュエット配合錠 4 番は、入院中に使用されるケースが少なく、院内の在庫が消尽するため採用区分を院外採用へ変更します。

(2) ウプトラビ錠 0.2mg (日本新薬) 薬価 : 1,587.3/錠

ウプトラビ錠 0.2mg は、入院中に使用されるケースが少ないため、院外・診療科限定採用へ採用区分を変更します。入院中に必要な場合は、別途購入し対応します。

(3) リボトリール細粒 0.1% (太陽ファルマ) 薬価 : 8.0/g

リボトリール細粒 0.1%は、リボトリール錠 0.5mg を粉砕することで代替が可能なため、院内の在庫が消尽次第、採用区分を院外採用へ変更します。

(4) イドメシンコーワクリーム 1% (興和) 薬価 : 3.5/g

イドメシンコーワクリーム 1%は、2026 年 4 月以降に販売中止となり、2027 年 3 月末で薬価削除となるため、採用薬を「インテバンクリーム 1% (50g/本)」へ変更し、採用区分を院外採用へ変更します。

(5) モイゼルト軟膏 1% (大塚製薬) 薬価：145.1/g

モイゼルト軟膏 1%は、PDE4 阻害剤であり、ステロイド外用薬で懸念される局所副作用が少なく、刺激感が少ない薬剤です。小児科においてアトピー性皮膚炎を入院で診察する機会が増えたため、院内採用へ採用区分を変更します。

4. 採用中止薬について

(1) デュピクセント皮下注 200mg シリンジ (サノフィ) 薬価：39,549 / 筒

デュピクセント皮下注 200mg シリンジは、デュピクセント皮下注 200mg ペンを採用するため、採用中止とします。

5. 販売名変更の報告

・陽進堂

アルギニン点滴静注 30g 「AY」 → アルギニン点滴静注 30g 「YD」

上記の薬剤につきまして販売名が変更となります。

6. メーカー変更の報告

サノフィ株式会社 → Medical Parkland

ベナンボックス注用 300mg

・第一三共 → ユーシービージャパン

ビムパッド錠 50mg、ビムパッド点滴静注 100mg

上記の薬剤につきましてメーカーが変更となります。

7. 特別採用薬品の報告

ー診療科限定ー

- (1) ブーレンレップ点滴静注用 70mg [血液内科] 薬価：923,754/V
- (2) ブーレンレップ点滴静注用 100mg [血液内科] 薬価：1,284,052/V
- (3) ミンジュビ点滴静注用 200mg [血液内科] 薬価：125,201/V
- (4) ピアスカイ注 340mg [血液内科] 薬価：1,978,062/V
- (5) デュピクセント皮下注 200mg ペン [小児科] 薬価：39,706/キット
- (6) エアウイン皮下注用 45mg [循環器内科] 薬価：1,082,630/V
- (7) エアウイン皮下注用 60mg [循環器内科] 薬価：1,441,677/V

ー患者限定 臨時採用薬使用ー

- (1) レクチゾール錠 25mg [小児科] 薬価：76.3/錠

上記薬剤は、現在特定の診療科又は特定の患者において処方されている、処方が予定されている特定使用薬品です。申請された診療科及び患者のみ使用可能となっています。

8. 後発医薬品切り替えについて

(1) 抗血小板剤

先発品：エフィエント錠 3.75mg (第一三共) 薬価：237.0/錠

後発品名：プラスグレル錠 3.75mg 「DSEP」 (第一三共エスファ) 薬価：118.2/錠

(2) 抗血小板剤

先発品：エフィエント OD 錠 20mg (第一三共) 薬価：949.6 /錠

後発品名：プラスグレル錠 20mg 「DSEP」 (第一三共エスファ) 薬価：471.2 /錠

(3) アレルギー性疾患治療剤

先発品：ビラノア OD 錠 20mg (大鵬薬品) 薬価：44.8/錠

後発品名：ビラスチン OD 錠 20mg 「TCK」 (日医工) 薬価：17.7/錠

上記の医薬品について後発医薬品の切り替えを実施します。

9. その他

—流通関連—

(1) ウログラフィン注 60% 出荷再開のお知らせ

ウログラフィン注 60%は、個装箱内で異物付着が確認されたことに起因し出荷停止となっていました。2026 年 6 月 17 日より限定出荷が解除されました。

(2) ネオメドロール EE 軟膏 限定出荷について

ネオメドロール EE 軟膏は、海外委託製造所において製造の遅延が発生したため限定出荷の状況です。診療科へ情報提供を実施し、在庫が無くなり次第処方停止の方針の予定です。

(3) ラボナール注射用 0.5g 限定出荷のお知らせ

ラボナール注射用 0.5g は、製造委託先から納品を予定していた製品において出荷判定に時間を要したため、限定出荷の状況です。診療科へ情報提供を実施し、在庫状況を確認しながら対応します。

(4) ストレプトマイシン硫酸塩注射用 1g「明治」 一時出荷停止について

ストレプトマイシン硫酸塩注射用 1g「明治」は、製造工場の設備故障が発生し、製造が一時停止となったため、出荷が一時停止となりました。供給再開時期は 1 ヶ月後となる見込みです。

—その他—

(1) エレンタール P 乳幼児用配合内用剤 採用規格の変更について

エレンタール P 乳幼児用配合内用剤の採用規格の変更について、当院ではこれまでエレンタール P 乳幼児用配合内用剤 40g/包 を使用していましたが、地域医療連携における処方規格の統一のため 80g/包の規格へ変更します。

(2) 栄養保持を目的とした医薬品の保険給付の適正化について

令和 8 年 6 月の診療報酬改定で実施された「栄養保持を目的とした医薬品の保険給付の適正化」について電子カルテの改修が行われました。対象となる薬剤を外来および退院処方を入力する際は、「手術時」、「経管による栄養補給」、「医療上必要」の 3 つの理由より選択しなければ処方できない設定となっています。

(3) 吉田製薬の医薬品医療機器等法に基づく行政処分について

吉田製薬は、令和 8 年 6 月 15 日に埼玉県より試験検査の記録の不適切な取り扱い等により行政処分を受けました。吉田製薬の製品や供給には現時点で問題ありません。

(4) 術前休薬の一覧表について

手術時に休薬が必要な薬剤の一覧表について、麻酔科と相談し、一部薬剤の休薬期間が変更となります。一覧表が完成次第、全部署へ配信する方針です。

以上